

平成維新東京・第3回（平成9年度）総会議事録

平成維新東京第3回総会記録 澤井正治

山本：どの党とも等距離でつきあう。党よりも人物をみる。

○副代表制

治田：良い制度だと思っている。継続したい。
山本：年代別だけでなく、機能別の副代表制も考えている。

○選挙対策（会員拡大）

治田：妙手はない。会員の一人一人が大衆に伝えて行くしかない。エリア・マネージャは頑張らしてほしい。
山本：エリア・マネージャが非常に重要。活発なエリアマネージャを考慮して、ブロックの再編も考えている。

(C)代表選出選挙（選挙管理者・阿部悠逸）

選挙結果

治田：59票、山本：17票、無効：1票。
以上により、今期代表は治田氏に決定した。

【5】新代表挨拶（治田桂四郎）

【6】協議事項

(A)平成9年度予算案（神村知行）が承認された。

(B)会則変更（阿部悠逸）

第22条第2項は不要な項目なので削除する提案が出され、全会一致で承認された。

【7】意見交換・動議

(A)予算案会計報告について

会費と活動費とは別々に会計報告されているが一緒にした方が収入と支出が一般会員にはわかりやすいのではないかと提案動議があった。活動費会計は別途に使えるものとして一般会計とは別に設けられた。一緒にすると総会の決議があることになる。用途が違うので、別会計が良い。等々の意見がたたかわされた。結局、実際の会費の運営上の都合も鑑み、運営会議預けとなった。

(B)最高顧問設置の提案

全国協議会との連携、首都圏道市民会議との調整のために、都民の会代表とは別に江頭さんに今後も尽力頂くために顧問という名で、この一年に限って残って貰いたい。

- ・屋上屋をつくるようなもの。
- ・役名がなくても今後とも江頭さんの協力はいただける。
- ・全国評議会などではやはり肩書きがいる。

等々、賛否両論があったが、票決の結果、本件は否決された。

【8】旧代表感謝の弁（江頭清昌）

江頭さんから会場の皆さんにこの2年間の協力に関して感謝の弁があった。

【9】旧代表への謝辞及び閉会宣言（小枝尚）

会員を代表して小枝さんが、江頭さんに感謝の辞を述べた。

総会閉会宣言が行われ、拍手の内に閉会した。

【懇親会】

閉会后、開場をかえて希望者による立食パーティが開かれた。

日時：1997年7月13日（日）13:30～16:30

会場：きゅりあん（品川区立総合区民会館）

6階中会議室

議事：（以下、文中の敬称は省略）

【1】開会宣言（司会・小枝尚）

本人出席38、委任状出席46（議長委任27、指名委任19）、合計84、現会員数277名の1/10以上であり定足数が確認され、開会を宣言した。

議事に先立ち、先般の都議選で当選された林ともじ氏から当会への支援に対するお礼の言葉があった。

【2】代表挨拶及び議長選出（江頭清昌）

(A)代表挨拶：二期代表を務めた。一期目は全国組織の平成維新の会の解体後であり、受け皿としての都民の会を早々に立ち上げた。従って、当初はかなりの混乱があった。二期目は落ち着いてきたこともあり、副代表制を設けた。この形で色々運動を展開できたと思っている。

基本的に市民運動のリーダーは突撃型ではなく、意見集約型のタイプでなければならない、と考えている。この会の構成員は非常にバラエティに富んでおり、意見を集約することもなかなか難しいが、一方ではそれが活力の源ともなっている。基盤は出来たのではないかと考えているので、今期三期目は立候補しなかった。

(B)議長選出：代表が望月忠雄氏を選任し、承認された。以下、議長は望月氏が務めた。

【3】報告事項

(A)平成8年度活動報告（杉原健児）がなされた。

(B)平成8年度決算（神村知行）及び会計監査報告（小枝尚）が行われ、承認された。

(C)活動費会計報告（治田桂四郎）があった。

【4】新代表選出

(A)候補者所見

治田桂四郎：いままで情報公開委員長としてそれなりの活動と成果をあげることができた。今後もこの情報公開を武器として市民運動を展開したい。

山本竜司：種々の活動の充実のためには個人の充実が先決である。現会員の足腰を鍛えてからでないと、会員拡大は望めないし、性急な拡大政策は失敗する。

(B)質疑：会場からの質問（大きく以下に集約）

○全国協議会との関係は

治田：静観したい。当面は都民の会の内部の充実が先決。

山本：取り組む課題による。納得できるものなら協同する。

○政党との関係

治田：民主党が維新の会に最も近いと思う。しかし、民主党を積極的に下支えするつもりはない。政策をみて、各政党とのかわりを変えていく。